

明石工業高等専門学校図書館

図書館報

第41号 平成17年12月

目次

高専図書館の今後の方向	(1)
郷土資料(2)	(2)
自著紹介、私と読書	(3)
推薦図書	(4)
学生の声	(7)
資料検索ノウハウ	(8)
利用案内、統計	(10)
海外の図書館	(12)

高専図書館の今後の方向

高 久晴

高専の学生諸君は、同世代の若者の中では格段に図書館を利用する事が多く、本も読んでいるはずである。しかし、記述式の試験問題では日本語になっていない答案を往々にして見かけ、「国語離れ」というよりそもそもが「国語に近づいていない」かのような感を覚える。先般、このような憂いに応える形で、「文字・活字文化振興法」が成立した。法律では、文字・活字文化振興のための各種施策が掲げられており、図書館に関しても「必要数の設置」の他、「図書館資料の充実」や、「教育機関が行う図書館の一般公衆への開放等に必要施策の展開」などが謳われている。法律名称としてはややわかりにくい感がするものの、日本語で表現された文化を大事にし、ひいては日本語そのものを大事にしていきたいという姿勢は理解できるどころであり、成長していく子どもの周囲に自然と読書等に慣れ親しむ環境を整えることは、時間を要するものの、我々の取るべき方策の一つとして重要なことと思われる。

このような観点から本校の図書館を見ると、いろいろの課題が見えてくる。一日平均200人強の入館者のうち本を借りる人は10数人程度という状況は、借り出してまで読みたいような本が少ないためなのか、それとも読書以外の目的に図書館が活用されているとして喜ぶべきことなのか。学生のニーズに応えるためには、適当な時期ごとにアンケート調査を行い、ニーズを的確かつタイムリーに把握していくことが必要であろう。又、館外貸出の検討を進めている段階の学外サービスについても、期待される「地域開放」に向けていっそうの努力が望まれる。

一方、最近、話題の電子ジャーナルについては図書館規模(資金力)によって導入数に差が生じ、研究情報入手に大きな格差が顕れつつあることは、ユビキタス社会といわれる今の時代に認め難いことではないだろうか。

高専図書館は、大学図書館に比して格段に規模が小さいことから提供できるサービスにも限界は自ずとある。しかし、そのような中でも出来るだけの努力を払い、学生・教職員がもっと利用する図書館に、そして、公立図書館とは一味違う地域の学術図書館として住民ももっと頻りに立ち入って貰える図書館に変身させていける筈である。

(たか きゅうせい 校長)

江戸時代の「るるぶ」～ 郷土資料ガイド(2)～

長谷川 博史

今回は、近年注目されている江戸時代の旅行ガイドブックを紹介したい。

当時は、「物詣」をはじめとする旅行が大変さかんになり、「名所図会」「名所記」などと称される書物が重宝された。郷土資料室にも、そのような版本が残されている。

『兵庫名所記(ひょうごめいしよき)』(1710年刊)

本書は、国会図書館や内閣文庫など国内各地に現存している。のちに『続々群書類従』(国書刊行会編第八巻)へも収録され、古くからよく知られている。宝永7年(1710)刊行であるので、特に有名な『摂津名所図会』(18世紀末)よりもはるかに古く、後の名所記に影響を与えたと考えられ貴重である。地域に関する興味深い情報が多く、面白い。

写真は、同書に掲載された須磨近辺の図(右半分)である。1184年、一ノ谷の合戦では、

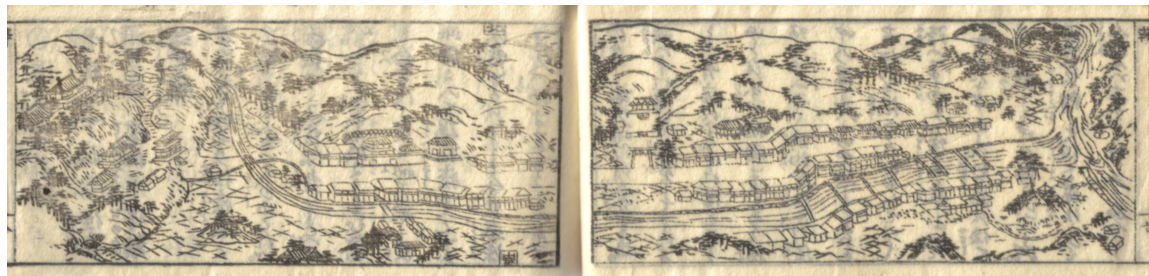


源義経が「坂落し」によって、平家の陣所に壊滅的打撃を与えた。「坂落し」の場所については、鶴越(神戸市北区～兵庫区)か、一ノ谷(神戸市須磨区)か、よくわからないと言われている。ただ、18世紀当時は「坂落し」は一ノ谷で行われたものと考えられていたようで、この図にも、「てつかいがみね(鉄拐山)」「一の谷」の西に「さかおとし」と記されている。現在の安徳神社の北側の斜面にあたると思われる。本文にも「鶴越の道てつかいが峯の腰北より南へむかひ出る道なり」と書かれていて、鶴越は一ノ谷近くにあったと記している。

『但州湯島道中独案内(たんしゅうゆしまどうちゅうひとりあんない)』(1806年版)

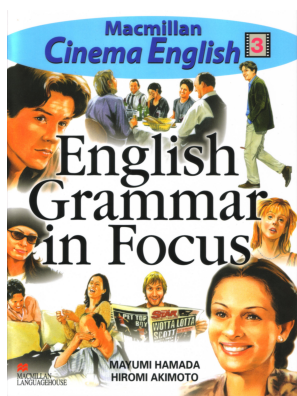
宝暦13年(1763)版と文化3年(1806)版があり、京都大学や東京国立博物館など国内各地に現存している。本校所蔵のものは、文化3年版である。

「但州湯島」とは、古代以来湯治の名所として知られていた城崎温泉である。温泉の効能と入浴方法、環境、歴史、滞在方法、名所案内、みやげ物紹介、交通費、各方面からのアクセス方法、そのコース上の名所案内まで、まさに至れり尽くせりの情報満載。しかも縦7.3cm×横16.1cmという、大変コンパクトなサイズである。これさえあれば、たとえ案内人がいなくても効率的な温泉ツアーが可能であったと考えられる。



江戸時代は、日本において出版文化が大発展した時代である。木版刷の原盤である版木や、印刷された当時の書物を見ると、その技術の見事さに驚かされる。膨大な緻密で正確な作業が生み出したたくさんの書物が、日本文化全体の底上げに大きく貢献したのである。

(はせがわ ひろし 一般科目)



自 著 紹 介

穂本 浩美

「English Grammar in Focus
映画『ノッティングヒルの恋人』で学ぶ会話英文法」
マクミラン・ランゲージ・ハウス 2005年
ISBN4-7773-6078-4

映画を使って英語学習をしませんか、と聞くと何だか英語そのものが軽く扱われているような印象を受けるかもしれません。でも映画は文化的な知識や社会的な情報、さらには使える英語表現の宝庫で、上手く活用すればモチベーションを高めるのに最適です。

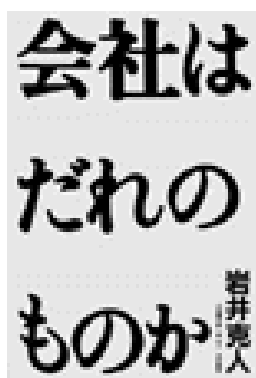
今秋、英語のテキスト“English Grammar in Focus：映画『ノッティングヒルの恋人』で学ぶ会話英文法”を出版しました。このテキストでは、イギリスで書店を営する平凡な男性ウィリアムがハリウッド女優のアナに恋をする、という皆さんもご存知の映画を題材として用いています。テキスト自体は、日常的に必要な語彙や使える会話表現、そして敬遠されがちな文法事項が映画の中では実際どのように使われているのかなど、さまざまなエクササイズを通して英語学習ができる構成になっています。イラストや写真も豊富に使い視覚的にも楽しいテキストを心がけて作成しました。

果たしてウィリアムの想いはアナに通じるのでしょうか？これは映画を見てのお楽しみにしておきましょう。映画の主題歌 She も大変美しい曲で、英語独特の「韻を踏む」歌詞がとても印象的です。勉強に疲れたら今度は歌を使って英語の発音を磨きませんか？
(あきもと ひろみ 一般科目)

BOOK *BOOK* *BOOK*

私 と 読 書

小池 勝



「会社はだれのものか」 岩井克人著
平凡社 2005年 ISBN4-582-83270-9

エンジニアは会社の中でどのような位置づけにあるかを、本書は教えてくれる。タイトルからは最近のライブドアの企業買収劇を連想させ、そこにも言及しているが参考になるのは以下の分析である。一昔前までは会社は工場を建てて適当な物を大量に作れば売れた、つまり資本を持ってさえいればたいがい儲かった、これが「産業資本主義」の時代。ところが最近では「適当な物」では売れない、他と違う物を作らねば売れない。「違い」を作るのはエンジニアの知恵と能力である。また違う物を作ってもすぐに真似されるから、絶えず違うものを創出し続けなければならない。したがって企業価値を決めるものはかつては工場の規模であったものが、最近ではエンジニアの優秀さに移りつつある。だから会社は資本家だけのものではない。こんな分析に私は一旦納得したが、ところで最も売れている車「カローラ」は、どこが他と違うのだろうか？という疑問がわいてきたものである。

(こいけ まさる 機械工学科)

学生用推薦図書・雑誌

推薦図書コーナーに配架しています。

電気情報工学科推薦

- 雑誌 「OHM」
- 雑誌 「日経リナックス」
- 雑誌 「トランジスタ技術」



機械工学科推薦

- 423.8.K 「ながれの事典」 / 編集委員長：神部勉（丸善）
- 雑誌 「日経ものづくり」

都市システム推薦

- 517.0.F 近自然の歩み：共生型社会の思想と技術 / 福留脩文（信山社サイテック）
- 452.0.N 海の名前 / 中村庸夫（東京書籍）
- 517.1.D 水理実験指導書 / 土木学会（土木学会、丸善）
- 511.27.D 地盤調査の方法と解説 / 地盤工学会編（地盤工学会）
- 511.27.D 地盤調査：基本と手引き / 地盤工学会編（地盤工学会）
- 454.7.Y 海辺に親しむ / 財団法人河川環境管理財団監修（山海堂）
- 517.0.T 変革と水の21世紀 / 財団法人河川環境管理財団監修（山海堂）

現代の国づくりの方途を決める書

- 210.04.U 日本人はどのように国土を作ったか / 上田篤ほか（学芸出版社）

メータ博士の名著訳

- 511.7.T コンクリート工学：微視構造と材料特性 /
P.クマ・メータ、パウロ・J. M. モンテイロ（技報堂出版）

定評あるテキスト

- 511.4.H 建設材料学（第6版） / 樋口芳朗ほか（技報堂出版）
- 281.04.D 若き挑戦者たち：国土を支えるシビルエンジニア / 教育企画人材育成委員会、マネジメント教育小委員会編（土木学会）
- 518.85.D 生命環境を守る緑（土木学会誌叢書） / 土木学会誌編集委員会編土木学会）
- 501.34.A 構造力学問題集：基礎的な演習問題をランク別に集録 第2版
/ 赤木知之、色部誠（森北出版）

建築学科推薦

ユニバーサルデザイン最新教科書

- 501.8.N ユニバーサルデザイン実践マニュアル / 中川聡（日経BP社）

人権教育推薦図書

- 289.1.T ラッキーウーマン / 竹中ナミ（飛鳥新社）

力学の基礎が図解で紹介されており、2、3年生に読ませたい

- 524.1.U わかる！建築構造力学 / 上田耕作ほか（オーム社）

力学全般が詳細に書かれており、4、5年生、編入学試験に役立つ

- 524.1.T 建築構造力学演習教科書 改訂版 / 谷資信ほか（彰国社）

学生向け環境問題入門書

- 519.0.Y いちばん大事なこと：養老教授の環境論 / 養老孟司 (集英社)
519.0.N まんがで学ぶエコロジー：本当に「地球にやさしい社会」をつくるために / 内藤正明、高月 紘 (昭和堂)
519.0.K 必然の選択：地球環境と工業社会 / 河宮信郎 (海鳴社)
518.24.A ウンコに学べ! / 有田正光、石村多門 (筑摩書)
519.0.K 地球環境読本：人間と地球の未来を考えるための30のヒント / 加藤尚武 (丸善)
519.0.K 地球環境読本 2 環境再生・共生を考えるための31のヒント / 加藤尚武 (丸善)
501.6.N 漠さんの地球を救うエネルギー・メニュー / 西尾漠 (七つ森書館)
543.5.N 原発を考える50話 / 西尾漠 (岩波ジュニア新書)
210.5.I 大江戸リサイクル事情 / 石川英輔 (講談社文庫)
210.5.I 大江戸えねるぎー事情 / 石川英輔 (講談社文庫)
210.5.I 大江戸テクノロジー事情 / 石川英輔 (講談社文庫)
210.5.I 大江戸えころじー事情 / 石川英輔 (講談社文庫)
210.5.I 大江戸ボランティア事情 / 石川英輔、田中優子 (講談社文庫)

性能評価の学習

- 524.91.N 建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説 / 日本建築学会 (日本建築学会)

大空間の設計の学習

- 524.91.N 空間構造の耐震設計と設計例 / 日本建築学会 (日本建築学会)

免震建築物の設計学習

- 524.91.F 免震建築物の技術基準解説及び計算例とその解説 / 日本建築センター (日本建築センター)

木質構造全般をまとめている

- 524.5.K 木質構造建築読本：ティンバーエンジニアリングのすべて / 木質構造研究会 (井上書院)

伝統的な木造構法の入門書

- 524.5.K 木造構法入門 / 小林盛太 (工業調査会)

防災に関する基本書

- 524.91.U 地震に強い住まいづくり：阪神大震災の教訓から / 海野哲夫 (彰国社)
524.91.M 地震に備えた住まいのチェックポイント / 守屋喜久夫著 (鹿島出版会)

一般科推薦

狂言入門書

- 773.9.S 茂山宗彦・茂山逸平と狂言へ行こう：旬報社まんぼうシリーズ / 茂山宗彦、茂山逸平 (旬報社)
772.1.N 日本の伝統芸能はおもしろい 3 野村萬斎の狂言 / 小野幸恵、野村萬斎 (岩崎書店)
210.1.N 日本史講座 / 歴史学研究会・日本史研究会編 (東京大学出版会)
第1巻 東アジアにおける国家の形成
第2巻 律令国家の展開
第3巻 中世の形成

・・・推薦図書・・・

第4巻 中世社会の構造

- 780.36.T 最新スポーツルール百科 Illustrated sports rules 2004
/大修館書店編集部 (大修館書店)
- 780.7.T 図解トレーニング身体意識を鍛える：各界のトップアスリート、武道家からビジネスマンまで、いま大注目の「身体づかい」7つの極意とは / 高岡英夫著 (青春出版社)
- 780.7.N 女性アスリート・コーチングブック / 宮下充正監修 山田ゆかり編 (大月書店)
- 専1・バイオテク入門参考書**
- 467.3.M ゲノミクス・プロテオミクス・バイオインフォマティクス入門
/ A.Malcolm 他共著・松尾洋監訳 (オーム社)
- 467.2.K トコトンやさしいバイオとゲノムの本：今日からモノ知りシリーズ
(日刊工業 B & T ブックス)
- 467.2.K トコトンやさしいバイオニクスの本：今日からモノ知りシリーズ
(日刊工業 B & T ブックス)
- 464.0.S バイオ特許入門講座 / 隅蔵康一 (羊土社)
- 464.036.R ポケットガイド バイオテク用語事典 / R.D.Schmid 著・村松正実監訳
(東京化学同人)
- 491.59.A 毒物・中毒用語辞典 / Anthony T.Tu 編著 (東京化学同人)
- 503.0.I ナノバイオ用語事典 / 石原直他監修・山科敦之編 (オーム社)
- 611.3.P 遺伝子組換え作物：パー・ピンストラップほか・見沼圭二監訳
(学会出版センター)

4、5年生 大学編入用参考書

- 431.0.N 薬学のための物理化学 / 西庄重次郎編著 (化学同人)

専1・バイオテク及び5全・生化学参考書

- 430.7.J 化学者の倫理 / J.Kovac 著・井上祥平訳 (東京化学同人)
- 519.0.0 これからの環境化学 / 小島次雄ほか (東京化学同人)

参考書として最適

- 413.52.N 明解複素解析 / 長崎憲一・山根英司・横山利章 (倍風館)

3年生以上の数学の参考書

- 410.0.U 大学生のための基礎シリーズ 数学入門 / 上村豊・坪井堅二
(東京化学同人)

読み物として最適

- 413.3.Y BLUE BACKS 高校生のための逆引き微分積分 / 山根英司 (講談社)

- 雑誌 「CNN English Express」
雑誌 「大学への数学」
雑誌 「ロボコンマガジン」



わたしのおすすめ本



『人工楽園 19世紀の温室とウィンターガーデン』

市居 愛子

この本はヨーロッパの温室の派生、変遷と実例を紹介しています。卒業研究でどうしても必要だったため、図書館にお願いして購入してもらいました。温室というと多くの人は植物園にある温室を思い浮かべるかもしれませんが。この本に載っている温室は植物園のそれとは一味違い、多くがヨーロッパ貴族によって建てられたもので、壮麗で装飾的なものが数多く紹介されています。建築関係の専門書というわけではなく、写真集のような本なので、多くの方が楽しめると思います。

(鹿島出版会, 1991年, 開架室: 523.06.H)

『石田衣良の作品について』

松木美貴

私が最初に読んだ石田衣良さんの作品は「LAST」でした。知り合いに借りたんですが、真っ黒な背景に心臓の絵が描いてある表紙で、他の本にはないインパクトがありました。中身はいくつかの短編小説で、すべての話に「LAST」というサブタイトルがついていました。内容は多額の借金をかかえた男の人生を描いたもので、ホラー作品ではないのにとっても怖くて、今でも頭からストーリーが焼きついて離れないくらいショッキングでした。

これがきっかけで、石田さんの作品を次々に読むようになりましたが、同じ人が書いたとは思えないくらいいろんなジャンルの作品があり、どれも面白かったです。こんなに幅広いジャンルの作品を書けるなんて、頭の中はどうなってるんだろうと思うくらいです。

石田さんの作品に出会い、読まなければ知ることなかった世界を知ることができました。近いうちに全作品を読破したいです。

(「4 TEEN フォーティーン, 新潮社, 2003年」開架室: 913.6.I ほか)

『ホップ・ステップ・ジャンプ シェルの基本テクニック』匿名希望

本書は、図書館でも購読している月刊Linux World誌の連載「シェルの基本テクニック」を再編集したものです。初級システム管理者の鯨津(げいつ)くんと、パワーユーザーのペンギンくんと対話集であり「Xって何、端末って何」という初心者でも十分に分かるように書かれています。今まで何も考えずに見様見真似で使っていたコマンドでしたが、「こういう意味やったんか」と目から鱗が落ちました。そして特筆すべきは、シェル変数、環境変数、起動スクリプトについての説明です。

私はノートパソコンにLinuxをインストールして使っています。消費電力もデスクトップに比べて低いため、Linuxを使って自宅にサーバーを立てようと考えています。本書が宅内サーバーを構築する上で、直接的に有益であったとは思いません。しかし、サーバーを管理していくには、コマンドやLinuxの動作の知識が欠かせません。本書は最低限必要となる、Linuxの基礎的な知識は網羅されているので、そういう面では大いに役に立ったと思います。こういった知識は、後々効いてくるものだと思います。本書が良書だったため、「図解で分かるLinux環境設定のすべて」を購入しようと思っています。次に向けてステップ、繋げてジャンプしていきたいものです。

(IDGジャパン, 2004年, 開架室: 007.64.N)

【平成16年度に購入希望は79件あり、63冊の図書を購入しました。】

雑誌や図書の内容を調べるには？

必要な情報を探す方法として「辞書・事典を調べる」「本を読む」「インターネットで検索する」などの方法があります。また、図書館に読みたい本があるかどうか、どんな本を置いているかを調べるには図書館の蔵書検索システム（OPAC）を使います。

今回は図書や雑誌の内容まで調べるためのデータベースを紹介します。明石高専では「GeNii」（国立情報学研究所）「J-Dream」（科学技術振興機構）が利用できますが、今回は4月から新しく始まった「GeNii」についてご紹介します。

GeNii（国立情報学研究所） <http://ge.nii.ac.jp/>

GeNii（ジーニイと読みます）とは、国立情報学研究所が提供する目録所在情報サービス、情報検索サービス、電子図書館サービス等の学術情報サービスを統合した学術情報の総合ポータルサイトです。

GeNii の総合検索システムで検索できるのは以下の4つです。



「CiNii(サイニイ):論文情報ナビゲータ」では、日本の学術論文を中心にした論文情報を提供しています。文献の引用関係を表示するほか、本文や資料の所蔵先へリンクしています。明石高専では機関として利用登録をしているため抄録や引用情報の参照は無料でできます。（本文の一部は有料です。）

「Webcat Plus(ウェブキャット プラス)」は図書や雑誌を検索し、所蔵している大学・高専図書館等を知ることができます。また日本語図書・英語図書は、目次・内容情報を見ることがもできます。

「KAKEN:科学研究費成果公開サービス」では、文部科学省及び日本学術振興会が交付する科学研究費補助金により行われた研究に関して、当初採択時のデータ（採択課題）と研究成果の概要（研究実績報告、研究成果概要）を収録しています。

「NII-DBR:学術研究データベース・リポジトリ」は複数の専門的なデータベース（25DB、120万件）を、一括してあるいは個別に検索することができます。データベースには「博士論文書誌データベース」「民間助成決定課題データベース」「民間助成研究成果概要データベース」「日本建築学会文献索引データベース」などがあります。

CiNii の検索画面

明石高専として登録しているためログインの必要はありません。

検索したい条件を詳しく指定できます。

全ての項目から検索します。

著者名・論文名・雑誌名など検索対象とした項目を指定します。

行の間の条件を指定します。

出版年・巻・号・頁から検索対象とした項目を選択します。

検索語を複数入力した場合の条件を指定します。

検索対象: 表示件数: 25 表示順: 出版年(新しい順) 検索 クリア

検索対象: 表示件数: 25 表示順: 出版年(新しい順) 検索 クリア

検索対象	検索語	検索語の組合せ
著者名		すべて含む
AND	論文名	すべて含む
AND	雑誌名	すべて含む
AND	ISSN	すべて含む

検索対象	FROM	TO
AND	出版年	
AND	巻	

検索 クリア

検索結果画面

文献書誌・引用情報 論文ID:20000117016

本文言語コード : jpn

著者名 : 角田忍
: KAKUTA,Shinobu

所属 : 明石工業高等専門学校都市システム工学科
: Dept. of Civil Eng., Akashi College of Tech.

論文名 : 高流動モルタルの流動性評価に関する一考察<<特集>>建設材料
: Discussion on Fluidity of Highly-Flowing Mortar(Special Issue on Structural Materials)

雑誌名 : 材料 (ISSN 05145163)
: Journal of the Society of Materials Science, Japan (ISSN 05145163)

出版事項 : 巻号 45(9) / ページ 979-984 / 出版年 19960915

出版者等 : 日本材料学会
: The Society of Materials Science, Japan

著者キーワード : Highly-flowing concrete / Rheology of fresh concrete / Fluidity / Non-segregation / Su

収録DB : ELS CJP書誌 NDL

本文リンク等 : [本文リンク](#) [あり](#)

所蔵 : Webcat Plus

abstract | references (6件) | citings (0件)

論文の著者、論題、出典のほか abstract (要約) や references (参考文献)、citations (この論文が他の文献に引用されている情報) 資料の所蔵先、本文へのリンクなども検索できます。

CiNii から参照可能な本文は、電子図書館(ELS)の全てと研究紀要の一部です。

「明石高専研究紀要」も採録されていますので、先輩の論文も載っているかも？ぜひ一度試してみてください。

<サイトライセンス個人 ID について>

本校の教員、学生の方はサイトライセンス個人 ID を取得すれば、無料で、所属機関・自宅、どこからでも、CiNii のほとんどの機能と、NII 電子図書館のうち機関定額制での利用が許可された論文本文を利用できます。

利用ランキング 2004.10.1 -2005.9.30

図書 -

- 79回 「土質試験の方法と解説」
- 55回 「詳解物理学演習」
- 42回 「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団」
- 31回 「ダ・ヴィンチ・コード」
- 30回 「有機電子論解説 第4版」
- 27回 「基礎有機化学 改訂版」
- 23回 「乙種第5類危険物取扱者試験」
- 18回 「蹴りたい背中」
- 17回 「乙種危険物取扱者試験 試験問題の
解答と解説」
- 15回 「いま、会いにゆきます」
- 14回 「インストール」「アフターダーク」「大学・
高専生のための解法演習微分積分」

- DVD -

- 59回 『24 SEASON 』
- 47回 『スパイダーマン2』
- 36回 『世界の中心で、愛をさけぶ』
- 32回 『FRIENDS』
- 32回 『解夏』
- 27回 『パイレーツ・オブ・カリビアン』
- 27回 『ロボコン』
- 24回 『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』
- 24回 『ロード・オブ・ザ・リング王の帰還』

- 雑誌 -

- 「新建築」 「新建築・住宅特集」 「A+U 建築と都市」 「住宅建築」 「建築画報」

図書館利用状況 (平成12年度から平成16年度)

図書館利用状況調(平成12-16年度)

項目 / 年度		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	
年間	入館者数	時間内	57,992	55,415	59,971	52,295	54,993
		時間外	17,010	14,585	14,691	12,612	13,749
		計	75,002	70,000	74,662	64,907	68,742
	AVルーム	計	4,015	5,314	4,331	4,891	3,948
	貸出者数	計	5,348	4,091	4,637	3,782	4,083
	貸出冊数	計	9,371	7,844	8,419	7,598	8,419
	開館日数	年間	283	278	260	276	281
一日平均	入館者数(時間内)		205	199	230	220	196
	入館者数(時間外)		60	52	72	55	60
	AV	ル	14	19	16	18	14
	貸	出	19	15	18	14	15
	貸	出	33	28	33	28	28

図書館利用案内

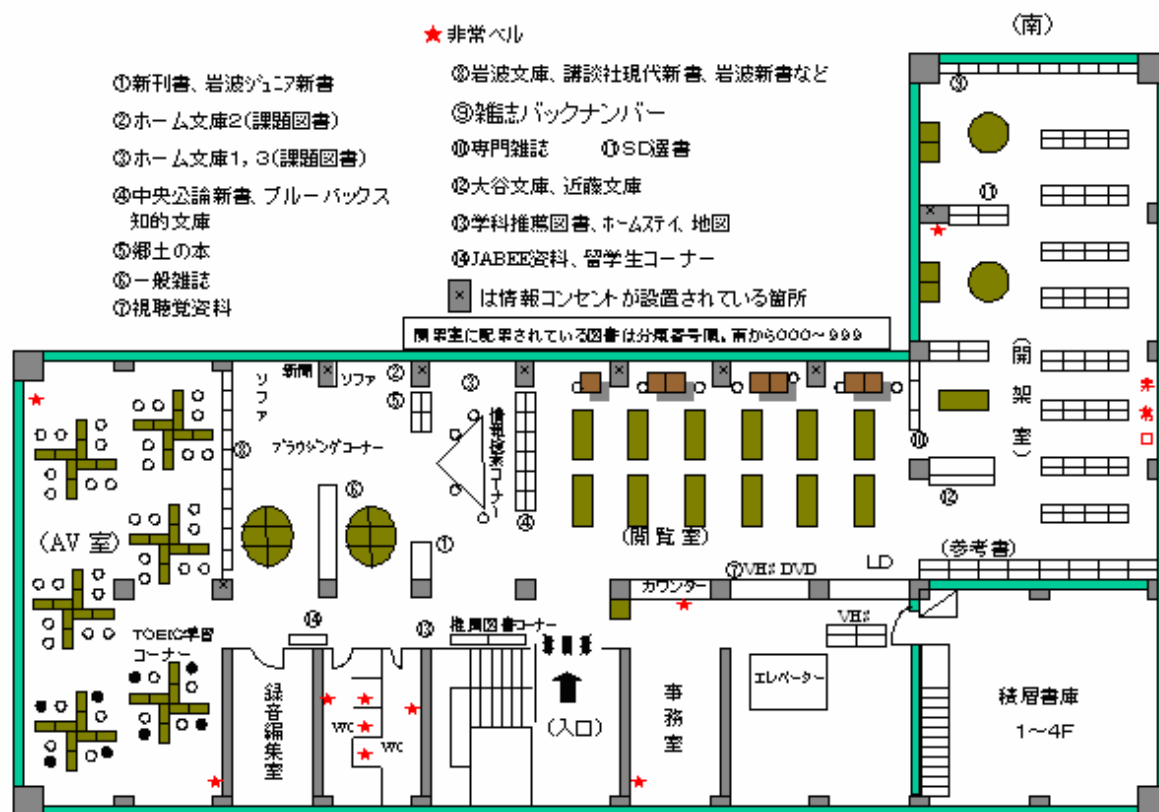
開館時間	
月～金曜日	8:30 - 20:00
土曜日	10:00 - 16:30
春・夏休み期間中	8:30 - 17:00
休館日	
日曜日・祝日	
春・夏休み期間中の土曜日	
年末・年始	12/28 1/4

	貸出冊数	貸出期間
通常	5冊	2週間
卒研	3冊	2ヶ月

卒研貸出は通常とは別に貸出ができます。対象者は卒研カードを発行しますのでカウンターで手続きしてください。

館内配置図

学科推薦図書・JABEE関連資料・留学生向図書・視聴覚資料・参考書など各コーナーに別置しています。



海外図書館事情

アーヘン工科大学図書館

工藤 和美

2003年10月から2004年9月まで、ドイツのノルドラインベストファーレン州にあるアーヘン工科大学建築学部で在外研究員としての1年間を過ごしました。アーヘン工科大学は工科大学とは言うものの医学部なども有する、大学が街全体と一体化したような大きな大学でした。そのため図書館も色々なところにあり、システムも複雑で解りにくいものでした。

中央図書館という巨大な図書館があるのですが、ここには私の必要な本はあまりありませんでしたが、平日は夜の11時まで、土曜日も5時まで開いているのでよく利用しました。冬は4時前には暗くなり、夜遅くに図書館の前のバス停でバスを待つのは本当に寒く辛かった事を思い出します。夏は逆に11時頃まで明るいので、9時頃の窓から射す夕日にまだまだ7時頃と勘違いしたりしていました。

さて、本の事に話を戻すと、必要な本は実際は街中に散らばった各研究所の図書館に探



しに行かなければなりませんでした。私は建築史研究所の図書館と、私が所属していた研究所の図書館の二つをよく利用しました。私の研究所の図書館は資料のほとんどがドイツ語で、ドイツ語が解るようになるまでの半年間は、?な部屋でした。帰国前には色々と資料を集めコピーさせてもらいました。

建築史の図書館は中世の映画に出てきそうな雰囲気たっぷりの図書館で、

古い貴重な資料も沢山あり、ページを捲るのも紙を傷めないように注意する必要がありました。ここで資料を探しているとヨーロッパの歴史というものをしみじみと感ずることができました。今もこの3つの図書館を懐かしく思い出します。

(くどう かずみ 建築学科)

【掲示板】

本校所蔵の兵庫県関係郷土資料約2,000点の所蔵を国立情報学研究所の目録データベース(NACSIS-CAT)へ登録しました。明石高専の資料を全国の利用者に向けて発信するきっかけになればと思います。

【編集後記】

図書館報第41号をお届けします。お忙しい中原稿をお寄せくださった皆様ありがとうございます。本号の各記事が読書や図書館の利用に役立っていただけると願っています。

明石工業高等専門学校図書館報 第41号 2005年12月発行

編集・発行 明石工業高等専門学校図書館 明石市魚住町西岡 679-3(〒674-8501)(078)946-6051